



■コロナ禍の中で、働く人たちは何を感じ、何を考え、何を願っているのだろうか？～6年「国語」「総合的な学習の時間」～

6年生は、国語及び総合的な学習の時間に「新型コロナウイルスについて、様々な視点から考え、全校に伝えよう」をテーマにした学習に取り組んでいます。

その学習を進める中で、児童から「インターネットで調べても、実際の様子がわかりにくい。」「働く人たちの生の声を聴きたい。」という思いが生まれました。

そこで、6年担任が6年生保護者に対して、この学習におけるインタビュー活動やアンケート調査のお願いをしました。すると、保護者の方から嬉しい回答が多く寄せられ、6月30日、7月5日、7月7日の3日間に5名の保護者が来て下さり、学習テーマに沿ってそれぞれの職業についてのお話やインタビュー活動にご協力いただきました。

また、児童からの紙面によるアンケート調査に対しても、多くの保護者の方に回答いただき、児童一人一人の学習が深まったと実感しています。保護者の皆様のご協力に対し、心より感謝申し上げます。

保護者の方の話には学ぶことが多くありました。新型コロナウイルス感染症を予防するための「検温・消毒・手洗い・三密の回避」などは、昨年度から日常的に行われており、児童にとっては理解しやすいことです。しかし、その対策により「仕事の依頼がゼロになってしまったこと」「仕事のやり方をすぐに変えなくてはならなくなったこと」「社員にどうやって給料を払えばいいか不安になったこと」「心と体の健康のためにやっていた仕事なのにできなくなり、逆にその方たちがどう過ごしているのか心配になったこと」など、それぞれの職業にまつわるご苦労や心配事を率直に話してくださいました。

最も驚いたのは、そのような状況にありながら、「じゃあ、集まらなくていい方法を考えようよ」「思い切って、前から導入したかった器具を買ってコロナ対策にしようよ」「相手が求めている形を企画して提案しようよ」と視点を変え、『挑戦する』ことに力を尽くされた話でした。なかなかできることではありません。児童にとって「生の声を聴く」学習は、机上では学べない有意義な時間となりました。



(⇒ 裏面に続きます。)

■ 幼稚園と5年生の交流活動

7月8日（木）、石垣幼稚園と石垣小学校で恒例的に行われている「幼稚園と5年生の交流活動」を行いました。幼稚園教員と5年担任が、どちらも楽しめる内容について知恵を絞り、コロナ対策を講じた中で、「水鉄砲まともて遊び」「シャボン玉遊び」「水に浮かぶ船遊び」の活動を行いました。

特に、水に浮かぶ船は、5年生の手作りでした。発砲トレーに紙コップを付けた船に、模様を描いたり、飾りを付けたり、煙が出ている煙突を付けたり、風車を付けたりしているのを見て、「すごい！」「これ5年生が作ったの？」と歓声が上がりました。

また、シャボン玉をうまく作れない園児に、やり方をそっと教えている姿や、大きいシャボン玉ができた時に一緒に「すごいなあ」と喜んでいる姿は、とても高学年らしい様子で「さすがな5年生」の一面でした。

雨が降りそうな曇天でしたが、園児と5年生の楽しむ声は明るく弾み、雨も我慢してくれました。また、時折かかる水しぶきに歓声を上げたり、大きく丸まったシャボン玉を追いかけたりして一緒に遊ぶ姿は、みんながひとつの兄弟姉妹のようでした。



■ 1学期が終わります。

1学期が終わります。地域や保護者の皆様、学校運営協議会の皆様には、登校時の交通安全指導、下校時の見守り活動、玄関でのあいさつ運動、学校での「朝先生」や「読み聞かせ活動」等、ご尽力いただきありがとうございました。心より感謝申し上げます。

【今後の行事予定】

※7月15日現在

7月20日（火）1学期終業式（下校14：00）

8月6日（金）授業日（下校11：35）

8月11日（水）～8月13日（金） 閉庁期間

8月31日（火）授業日【2学期始業式】（下校11：35）

[文責：校長 塩地美千代]

